

『一生懸命』幻の新座市議会報告第217弾!



たかむらともや

食の安全保障

2月24日にロシアがウクライナを攻撃し始めて、半年近く経ちました。ロシア、中国、北朝鮮と日本を敵対視している国と接しているのですから、国が「防衛」に目を向けるのは当たり前のことです。

その一方で明らかになったのは「食の安全保障」の問題です。日本の食糧自給率は危険過ぎるほど低いのです。

先進国?で、**食糧自給率が37%**しかない日本。輸入に頼ってはいは、円安でどうにもこうにもならない日が来るでしょう。

これは自民党政権の責任です。消費税増税で日本経済をボロボロに。格差を広げていったことも致命的な政策でしたが、長年の農業対策もまた日本の食の安全保障には致命的だったのです。

小麦はアメリカに45%、カナダに35%、オーストラリアに20%。**大豆はアメリカに75%**、ブラジルに14%、カナダに10%。**トウモロコシはアメリカに72%**、ブラジルに14%、アルゼンチンに8%。**牛肉はアメリカに42%**、オーストラリアに40%、カナダに7%。**豚肉はアメリカが28%**、カナダが27%、スペインに14%、メキシコに11%、デンマークに9%依存しているのです。注目すべきは全てのトップがアメリカだと言うことです。

詰まり、日本はアメリカに食の安全保障まで握られているのです。

自分の国の食糧は自分の国で賄う。その当たり前のことが今の日本は出来ていません。(勿論、エネルギーも……)

それに加えて、「水」や「種子」「教育」まで差し出すことになったら大変です。

「憲法改正」の発議が現実味を帯びて来ました。要求しているのは**アメリカ**でしょう。日米地位協定、**日米合同委員会**、年次改革要望書。是非、調べてみてください。🙄

2022年8月31日発行



7月の川掃除のメンバーです。毎月本当に頑張る仲間達に感謝!感謝です!🙄

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。
新宿区立西戸山中
時代テニスと出会い
新宿区で優勝。都立
石神井高、北大でも
テニスだけしかやら

ず、勉強は全くしなかったもので、高校ではクラスで**最下位**になる。大学3年の冬、突然、教師になることを決意。無茶苦茶な方法で「教職の単位」を取る。**(今なら退学)**

五中・六中・二中で担任を21年間続けた後、カナダへ。帰国後石神「たかやん塾」を開校。2000年、市議選に初挑戦するも25票差で**落選**。2004年初当選。「一生懸命」を217弾発行し、駅立ちを続けている。

「市民と語る会」代表。文教常任委員会副委員長。長女は五中情報技術研究部。長男は六中硬式テニス部で全国優勝。次男は五中陸上部で県大会出場。

175cm、67kg、体脂肪率10.7%。B型
写真はジムを出た直後、娘の茜と……。🙄

たかやんの連絡先

自宅・塾

042-456-8869

携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

夏休みの宿題

中一の息子の英語の宿題を見て、のけぞりました！**単語と英文をノートにひたすら30ページ写すという宿題**だったのです。この脳味噌を使わずに書き写すという宿題は子ども達を「英語嫌い」にさせることはあっても、「英語好き」にさせることはないでしょう。

英語が嫌いな子は更に嫌いになり、好きな子も英語が嫌いになります。

僕は理科でしたが、新任から10年間は「自然の中で遊ぶ」「星を見る」という宿題以外は出したことがありませんでした。

理科嫌いな子を理科好きにする為に色んなことをやりました。黒目川に野草観察に出掛けたり、夜の屋上で天体観測をしたり、「カエル1匹捕まえてきたら、テストで10点プラスだ」と言っ
て、解剖して・・・カエルを食べたり。授業の前には必ずギターを弾いて、集中させたり・・・。有機物、無機物の実験で「お好み焼き」を作って食べたり・・・。でも、みんなテストは出来たのです。県でトップでしたから。

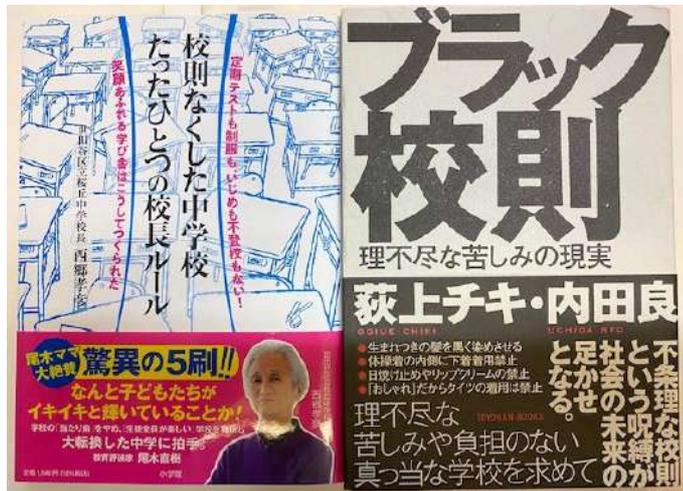
昔も今も、書かずに声に出して覚えるタイプの子の方が伸びるものです。

何度も読んで暗誦して、**右脳**を使うのです。**右脳**を使えば、写真で撮ったように脳の中で思い出せます。僕も入試ではその手で「参考書」や「単語帳ます」を頭の中でめくっていました。

同じ問題集を3回～5回やるのも悪くありません。最悪なのは、1回書かせて自分で○つけさせて、提出させて評価するという課題です。

高いお金を出して買わせたのですから、力をつけさせるために3回～5回やらせてやらないと勿体ないでしょう。スピードが大事ですから、綺麗にノートに写して提出に意味はありません。ボールペンで書きなぐるでいい。**海馬を刺激することが大事**なんです。

先生の目6



夏休みに入って直ぐ、2冊の本を読みました。「**ブラック校則**」の中では子ども達が伸びない、いじめも無くならない、不登校も減らない。そう思ったからです。そして、左上の本「**校則をなくした中学校。たった一つの校長ルール**」を読んで世田谷区立桜丘中学校の西郷先生の実践に感動したのです。そこには僕が求めていた「理想の公立中学校」以上の中学校がありました。

西郷先生の理念は一つです。それは「**桜丘中学校のすべての子ども達が、幸せな3年間を送ることができること**」それだけです。

桜丘中学校が凄いのは、まず服装が自由なことです。何を着ていってもOKなところは北米の学校と同じです。

しかも定期テストがありません。100点満点のテストの代わりに10点満点のテストを10回やる仕組みです。

おまけに、遅刻がありません。いつ登校してもいいのです。

校長室は生徒のたまり場で、スマホの充電器が自由につかえます。

廊下には机と椅子が置いてあって、教室で勉強しづらい子は廊下で自由に勉強できます。チャイムもなくて、**生徒総会で決まったことは必ず実現する**仕組みがあるのです。「**先生の目**」を持った先生で溢れている学校です。全ての先生に読んで欲しい本です。